

# MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

関西の  
情報

No. 243  
【発行・編集】  
MASUKI 情報デスク  
増木直美  
大阪府豊中市上新田2-6-25-113  
TEL 090-3710-4815  
FAX 06-6835-0974  
http://mid.parfe.jp/  
mid@jewel.ocn.ne.jp

● 祝祭日には国旗を掲げましょう。卒業式には「仰げば尊し」を！

## 文化遺産を潰す愚かな税制



文化遺産をいかに維持するか 神戸 小石原健介

今日は久しぶりに加古川の井上邸へ足を運びました。目的は広い建屋内の掃除に業者を頼みそのため朝早く家の鍵を開けるためです。この井上邸は千坪の日本庭園に建坪百坪の伝統的な日本建築の邸宅です。これは一代で財をなした家内の祖父が昭和11の年、40歳の時に竣工させた文化遺産として大変価値あるものです。その祖父も20年後の昭和36年に90歳の若さで他界しています。その後祖母はこの邸宅で一人暮らしで百歳で天寿を全うしました。

持するまでした。この邸宅の維持管理は一人息子だった義父から生前庭木の剪定だけで年間費用が200万円かかること聞かされてきました。さらに固定資産税が年間130万円かかる、この文化財の今後の維持管理に義父も60歳の高齢となり、相続税対策も含め個人の所有による維持管理には限界があると判断し、これを個人の所有から一般財団法人とするべき、私の発案で義父の了承を得て2016年からかかりました。

2016年中に財団に必要な認可をはじめ財団の組織、設立に必要な設立資金は法律では最低300万円が必要、これを義父の了承を得て一千万円を準備し、後は年度が替わる2017年4月に登記をすれば正式に設立の運びとなりました。ところが思わぬ税法上の落とし穴が発覚し計画は急遽断念せざるを得ない状況となりました。

義父は財団の設立を見ずに2017年3月27日97歳で他界、その葬儀に列席された税理士が葬儀にいられ私に分厚い封筒を黙って手渡されました。帰宅して封筒を開くと中身は法第96条第4項に新設として次の記述があり。今般の財団法人制度改革において、法人の役員に6親等以内の者が居る場合はその法人を個人とみなして、相続税また贈与税を課することとする。また財団は毎年収支報告を行い設立資金600万円を2年間下回った場合は財団は解散となり残余財産は、国または地方公共団体に帰属する。

この税法の落とし穴を読むと相続税、贈与税をとる、解散となれば残余財産は

国に没収される。これはまさに税法上の詐欺である。これを知りこの財団設立は急遽白紙に戻し断念しました。日本と言う国は過去の富豪が造った貴重な文化遺産を惜しげもなく税法により失し、維持保存しない文化遺産を大切にす欧州諸国に比べ三流、四流の文化国家である。

ネヴァーランド(故マイケルジャクソンの自宅)を日本で作ることは絶対不可能だ。悪の根源は累進課税と、相続税。ビルゲイツの自宅も文化的価値があると聞きます。さらに、中国人は3代、4代かかって何かを作ると言います。累進と相続税で巻き上げたお金を原資にし、バラマキは止めようよ。「皆平等」の共産国家からの脱却。取り急ぎ累進と相続税の廃止・・・とまでは言わないが。また「貧乏人は麦飯を食べ」とも言わないが。さらに「ネヴァーランドは永遠だ!」とも言わないけど、せめて小石原さんのおじいちゃんに遺したこの程度の文化財だけは保存できるように考えるべきではないか。大きなものは大きくて価値があり、細切れにしてしまったら、その価値は消滅してしまふ。高級住宅街が、代替わりすることにウサギの家になるようにしたくない。将来、子供たちはマンションが日本建築だと思っようになつてしまふ。

実は20年ほど前、大阪の吉村さんがまったく同じような事情で、自宅を大阪市に寄付された。その後の状況はわからないが。

# 議会質問。議員。自治体等からの報告

## 立憲民主党の憲法論議

11-24 長崎市議 浅田 五郎

日本経済新聞の憲法論議を巡る候補の主な発言。これを読み立憲では、憲法についての議論はなく、候補者が勝手にお話ししているようです。

日本維新にしても国民民主にしても憲法という生活の根幹をなす政治の第一目一番地である憲法については総選挙にはそれなりの説明を示しています。立憲は代表選でも憲法についての議論がされていない事が良く分かりましたし、政党の対をなしていないのでは、批判だけして政策の訴えがなかったと、候補者が語り、あまりにも自民党との格差に国民は失望しているのではと思います。

野党第一党の責任に於いてその論議がバラバラで、そこいらが実は今回の総選挙の敗因であったことを前代表は理解していないままの退任だったのだと理解できました。それだけに立憲の新代表の最初にすることは、憲法改正にどう向き合うかを、4候補者は国民に示す責任があります。

国内だけの内向きの政策だけでなく同盟国との関係、自由主義陣営なのか、社会主義陣営なのかで、大きく外交的にも変わります。だから、その点についても明確にご意見を述べる候補

者に国民は期待するのでは無いでしょうか。

## 拉致問題の啓発教育を

11-23 参議 高木かおり (FBより)

大阪市教育委員会では、北朝鮮による拉致問題の啓発教育を推進する一助を決めました。この大阪市教委の拉致問題の啓発活動は学校現場で人権問題としての理解促進を図り、拉致問題を風化させないというメッセージになると思います。

拉致被害者やご家族も日に日に年を重ね、本当にもう時間がないことは周知の事実です。政府も解決の糸口を何とか見つけようとしているんだと思います。それならば、国会でも委員会を開いて少しでも解決につながるよう議論をし、メディアでも取り上げていただきたいと思います。

## 戦没者追悼式に寄せて

11-17 千葉県議 田沼たかし

【田沼ニュース 第638号】

11日、四街道市戦没者追悼式に参列しました。私の政治の原点は「英霊に伝える」こと。特攻隊の遺書に涙したからであり、それは今でも全く変わりません。

最優先で参列しました。

<http://www.tanumainfo/profile2/>

祖国のため、故郷のため、愛する家族のために、命を懸けてくれた方々がいたことを、私たちは決して忘れてはなりません。そしてその方々に応える、立派な未来を建設する責任があります。この教育が実現できるだけでも、私は日本の底力は高まり、将来が明るくなると思っています。

” 恩知らず。 ” なんては、凜とした人間性が失われてしまうからです。また、何の罪もないのに、心ならずも命を落とされた戦没者の方々がいたことも、決して忘れてはなりません。その方々の苦しみを知り、無念を晴らすべく、その方々の分まで、私たちはしっかり生きなくてはなりません。

自分の人生を輝かせることは、ひとり自分のためだけでなく、今は「き」自分につながる方々への恩返しでもあります。私がお墓参りや先祖供養などを重視し、たびたび投稿するのも、この縦系の一体感の大切さからです。そういう温かい国、いまは見えない人たちともつながっている国、いわば「家族国家」が、私の理想だからです。

英霊への感謝と、戦没者に哀悼の意を、改めてこの日に、捧げさせていただき、必ずや四街道に素晴らしい新時代をもたらす、その決意を新たにしました。

「その方々の分まで、私たちはしっかりと生きなくては」

『自分の人生を輝かせることは、ひとり自分のためだけでなく、今は「き

「自分につながる方々」への恩返し」  
田沼先生の心情はよく存じ上げておりますが、いま改めて先生の言葉に感動しています。 マスキ

【今月の新聞報道】より

## 武蔵野市長、住民投票条例案を発表

## 国人に投票権

2021/11/12 産経

外国人と日本人を区別しない住民投票条例の制定を目指す武蔵野市武蔵野市の松下玲子市長は12日の定例記者会見で、外国人と日本人を区別せずに投票権を与える住民投票条例案を19日開会の市議会に提案すると正式発表した。外国人参政権の代替として利用されかねないとの市民の懸念に対しては「論理の飛躍だ。同性でも離婚する人がこれだけいる中、夫婦別姓制度を実現すると『家族が壊れる』と言っている人に似ている」と揶揄（やりゆ）した。

条例案では、市内に3カ月以上住んでいる18歳以上の日本人と定住外国人に投票権を認める。留学生や技能実習生らも含め、日本人と同一条件で投票権を付与する条例は全国3例目とみられ、松下氏は「市民自治の推進が期待できる。市民参加の手法の一つであり、外国籍住民を対象から除くことに合理的な理由は見いだせない」と述べた。



# 川内時男公立中学校長の教育宣言

徳島県立中学校校長 川内時男

<http://100ps.info/katudoukirok>  
[u/nakama/R2-1-17Kawauti/fo](http://nakama/R2-1-17Kawauti/fo)  
[p.htm](http://p.htm)

## 社会に益のない私大は消えるべく 11-21

今朝の産経新聞のオピニオン欄より

私立大学の定員割れが深刻化してきた。定員割れしたのは前年度比93校増の277大学で、大学全体に占める割合は46%である。志願者激減の原因はコロナウイルス感染症の影響で経済的に疲弊した世帯が併願校を減らしたこと、海外からの留学生が減ったことなどがある。少子化が進むのに文科省は大学の新設や定員増を進めてきた。これでは定員割れを加速させているようなものだ。

記事は私立大学の経営危機を訴える内容ですが、私は別の危機を訴えます。それは我が国に蔓延している「学歴インフレーション」による危機です。

言うまでもなく大学教育はそれに相應しい能力と意欲を有している者が学ぶ場所です。意欲と能力ある者の学識を高めることは我が国の知的レベルを高め、ひいては国力を高めます。それ

があるから政府は公立・私立を問わず国費で援助しているのです。

しかし、中にはかなりの割合で「大学卒」の肩書を得るためにだけに入学している者が多くいるようです。そればかりか、ある高校教師から聞いた話によりまして、「成績不振で就職できなかったのて大学進学する者が多くいる」ということでした。あきれ果てるものが言えませんが、能力も意欲も伴わない者や大卒の肩書を得るために4年間を無為に「過す」者に無駄な国費を使うなど論外です。

第一、大学進学に費やす両親の家計負担が消費に回ればどれだけ我が国の経済にとって有益でしょうか。文科省の施策は学歴インフレーションを助長するばかりで、全く無意味です。本人にとっては人生の無駄、行政にとっては財政の無駄、親にとっては家計の無駄、いいことは何もありません。文科省はこのことを胸に刻むべきです。そんな金があるなら意欲も能力もあるのに貧乏くちで学ぶことが出来ない者を援助すべきです。ましてや海外からの留学生に税金を使うなど考えられません。そして「大卒のレッテルを安売りにしているだけの私大」はこの際潰れてもらいましょう。それが日本のためです。

## 96、たかが外国語！たかが英語！ (7/11)

前回は小学校からの英語教育に反対

する意見を述べましたが「子供の発育」という観点からもお話ししておきたいと思えます。義務教育段階の子供、とりわけ小学校時代という時期は物覚えが早く、語彙の数が爆発的に増える時期です。新しい言葉を驚くべき速さで吸収します。「子供が仲間と群れ遊び、早頃からコミュニケーションをとれるように」と自然が仕組んだからに違いありません。その意味では小学校からの英語教育に賛同する人達の言う

「英語は幼いときに始めた方が身につきやすい」というのは事実です。しかし私は声を大にして言います。「そう言う時期だからこそ、英語ではなく、しっかりと母国語を身につけさせるべきなのだ」と。今、海外に在留する日本人の間で奇妙な現象が起きています。

現地に住む日本人の多くが、自分の子供を日本人学校ではなくアメリカンスクールに通わせる例が増えているのです。ついこの前までは、子供が帰国したときの受験のことを考え、何としても日本人学校に」と希望する人が多かった(ただし欧米以外)のですが、小学校の教科に英語が入ったことで、多くの保護者が「アメリカンスクールで身につく英語力は魅力」と考えるようになったのです。そんなこと間違っている！とは言っても、子を思つ親心を考えればやむを得ないことでしょうか。

しかし私はここに大きな見落としがあることを指摘しなくてはなりません。それは・・・本当にしっかりと英語力を身につけたいのであれば、真っ先

に母国語を学習させよ、と言つていす。多くの言語学者が言っているのです。

幼少期から英語を学習した子供は、確かに当初は語彙力も発音も他の子供より秀でていますが、その後の成長ぶりを比べて見ますと、ほとんど差がないどころか、むしろ母国語をしっかりと身につけた子供の方が英語の上達が早いと言つたのです。つまり外国語というのはしっかりと母国語の上こそ築かれると言つたことです。母国語がしっかりといていない子供に英語を教えても「チーチーパッパ」の英語になつてしまつたのです。

さらにもう一つ大事なことで、海外でどれほど英語が堪能になつたとしても、満10歳になる以前に帰国してしまえば、それまで蓄積された英語は記憶から消えてしまつと言つたことです。因みに3歳から6歳までインドネシアに滞在した長女は、それまで流暢に話していたインドネシア語を全く忘れてしまい、今では私の方が上です。つまり外国語など所詮その程度のものでしかないということなのです。

明治期に「日本語をやめて英語にしまえ」の暴論を提案した福沢諭吉翁でしたが、翁は一方で大変な偉業を成し遂げています。それまで日本語になかった外国の言葉を日本語で言い表し紹介したのです。我が国にあふれているカタカナ語、インテリの方々はお好んで使っているようですが、福沢翁を見做つてこれらを適切な日本語に訳してくれないものでしょうか。

# 小石原健介からの世界から見た日本

## 正しい日本の立場

11-2

報道によると、1日台湾で開かれたシンポジウムに日本からオンライン参加した、安倍元首相は基調講演で『日本と台湾がこれから直面する環境は緊張をはらんだものとなる』と指摘『尖閣諸島や与那国島は、台湾から離れていない。台湾への武力侵攻は日本に対する重大な危険を引き起こす。台湾有事は日本有事であり、日米同盟の有事である。この点の認識を（中国）習近平主席は断じて見誤るべきではない』と語った。

これに対し中国外務省報道官は1日の定例会見で『強烈な不満と断固たる反対を表明。中国外務省によると駐中国日本大使と緊急会談し、厳正な申し入れを行ったと中国外務省は2日発表した。日本大使館によると大使は『安部氏はすでに日本政府を離れていることから政府として説明する立場にない』と反論したという。

安倍元首相の発言は正しい日本の立場であるが、一体岸田政権の対中国発言は聞こえてこない。こんな中で中国王毅外相の要請に応じて親中派の代表である林芳正外相がこのこと訪中すれば、まさに『飛んで火に入る夏の虫である』中国に都合の良いようにあらわれそうである。小石原健介

## 対中国政策

11-26

敗戦真相記で指摘されている問題は現在でもほとんど解決されていません。この中で報道によると18日の林芳正外相と中国王毅外相との電話協議で王毅外相から自身への訪中の要請があったことを林芳正外相が明らかにしたと報じられている。彼は外相就任までは日中友好議員連盟会長の任にあり親中派の代表人物である。共に同じ東大卒ハーバード肩書の次期総理候補と言われる、茂木前外相が手玉に取られた相手は中国王毅外相である。

日本人の二世三世のボンボン大臣がしたたかな中国政府要人と対等に對抗できるはずがない。広島県日中友好協会会長を務める岸田首相も然りである、これから政府首脳は中国詣でにより日本はますます中国にものが言えない属国化が進む恐れは否定できない。

## 広島 奥中 正之

中国は林外相呼びつけて、北京オリンピックの外交ボイコットをやらないように圧力をかけ、日本の譲歩をとりつける魂胆であろう。北京からの圧力に加え、公明党からの圧力を従い岸田首相は北京の言いなりになる公算大である。そうならないよう、しっかりと注視しなければならぬ。

## 敗戦真相記

11-24

今朝の朝刊一面の図書の広告欄に、予定されていた平成の没落『敗戦真相記』永野護著が出ていました。この著書は2002年7月バジリ「発行の図書で私の手元にあります。

日本は同じ過ちを繰り返している、敗因として永野があげたすべての項目が、いま、日本にそのまま当てはまるものだ。日本が平成に入り没落の一途を辿った原因である。

これには全く同感です。本書の内容は書に譲るとして、私なりの解釈は次のとおりである。そもそも日米戦争は、あたかも真珠湾先制攻撃で日本が仕掛けたと言われているが、真相はハルトノートご承知のようにアメリカに仕掛けられたものである。これは戦後米軍のマッカーサー元帥が議会でこの戦争は日本の侵略戦争ではなく自衛のための戦争であったと証言している。

最後は原爆まで投下された60万人の一般市民が米軍の犠牲になった。これを自虐の歴史に擦り込まれた日本人は、戦後は一貫してアメリカのやることは善で政府はこれに常に追従してきた。

核兵器禁止条約の調印にもアメリカに気を遣い調印を拒否し、まるでアメリカの属国に甘んじてきた。日本潰しの市場原理主義が持ち込まれると今度はもろ手を挙げて賛同し、自ら日本の伝統的な日本精神、日本人独特な考え方による人間尊重、人間主義、人間志向による経営理念、組織風土を根底から破壊してい

った。イラク戦争の際の日本とフランスやドイツとの対応の違いを見れば歴然としている。

福沢諭吉が指摘した相手（アメリカ）次第でどうにでも態度を変える『コム人形』である。ちなみにドーバープロジェクトでは最大の出資国（3000億円）、日本は市場原理の失敗により出資額の半額1500億円を不良債権で償却しドブへ捨てた最大の被害国である。

アメリカに代わり仮に中国の属国になれば日本は今度は中国のやることすべて善の国となる恐れがある。恐ろしい仮説である。

## 《敗戦真相記の概要》

著者の永野護は1860年生れ東大法科卒渋沢栄一の秘書となる。戦中と戦後衆議院議員を二期、岸の内閣運輸大臣、実弟に永野重雄（元日本商工会議所会頭、新日本製鉄会長） 永野鎮雄、（元五洋建設会長） 伍藤輝雄（元日本航空会長） などがおり、永野兄弟として知られた。

### ○主内容

1. 日本の国策の基本的な理念が間違っていた。換言すれば、日本が口先では万邦共栄というようなことを言いながら腹の中では日本本位の考え方をあらゆる国策の指導理念にしていた。

2. 日本の軍部が自己の力を計らず、敵の力を研究せず、ただ精神力を過大

評価して、これに慢心したこと

3. 軍の指導者が国民の良識や感覚を無視して、一人よがりで自分のいいと信じたところに国民をつれていこうとした。

4. 戦局に影響を及ぼしたマネジメンツの差です。日本には科学的マネジメンツというものがほとんどゼロに等しかった。

5. 経営能力が、科学兵器の差よりひどい立ち遅れであった、この代表が官僚の著しい特性は一見非常に忙しく働いているように見えて、実は何一つやっていない。

6. 軍の動員計画なんかも実に非科学的なもので、その技術者がいなければ工場がいっぺんに止まるという重要な者を引っ張ってきて馬を洗わせたり、壕を掘らせたりする。

7. 陸海軍の不一致というのは、科学能力の劣弱に匹敵すべき戦争の致命的敗因であった。

8. アメリカの進駐軍が入ってきて、日本の官庁と交渉して最も驚いたことは、日本の官吏は上になるほど物を知らない、地位が上になるほど勉強しない。これにはさすがの進駐軍も然とした。

9. 日本官吏にも非常に優れた才能がひとつある。それは何かというと責任回避術である。

10. 官僚機構という特権的な城の中に長い間務めているうちに、いつの間にか勉強家が勉強しなくなり、責任回避だけがうまくなり、人民の都合は第二次的に考える人種になってしまった。

11. 明治維新における日本の教育目標は、武士としての人間の完成度であった。明治以降はいたずらに欧米の物質文明を模倣することに急なあまり人間としての鍛錬を忘れ、その人生観は立身主義に墮落するに至った。

12. 昭和年代に入り維新前の教育を受けた人たちはすべて死に絶え、あとは大黒柱のない建具ばかり継ぎ合わされたような建物となり、そこにこの大暴風雨がおそってきたので、ひとたまりなく吹き倒された。

13. 今後の教育問題の成否は、日本の再建の命運を根本的に決するものである。人間としての信用し得る人格本位の教育制度を確立すべきである。

著書の内容は概略ゆめたと思います。が、何処を読んでもなるほど納得させられます。日本再建の命運、教育問題の成否は政府が唱える英語教育やデジタル教育の小手先の次元の低いものではなく、人格本位のものとするべきである。

## 日本の凋落 11-21

私は若い時から人一倍日本人を誇りとして生きてきました。私の身近に知る

明治生まれの先達は人間としてクローバルスタンダードの世界に冠たる人物が揃っていました。政治家では吉田茂や田中角栄、経済界では出光佐三、松下幸之助、土光敏夫、四本潔等々日本が一変したのは失われた三十年と言われる平成に入ってからです。

ジャパン・アズ・ナンバーワンといわれ戦後急速に力をつけた日本に脅威を感じたアメリカは日本潰しの市場原理主義を持ち込み伝統的な日本精神、日本人独特な考え方による人間尊重、人間主義、人間志向による経営理念、組織風土を根底から破壊していった。これに対し藤原正彦氏が厳しく警鐘を鳴らしたのが『愚かなり、市場原理主義信奉者』である。アメリカで力を持つユダヤ帝国、ネオコンの作戦にまんまと嵌ったのは、小泉・竹中コンビによる日本の強みである経営理念や組織風土は破壊され金銭至上主義が日本中を席卷した。経済界はモノづくりのノウハウを盗まれようがお構いなし、人件費の安い中国へ中国へと草木もなびく勢いで進出して行った。

この象徴的な歴史の流れはアメリカのイラク侵攻である。小泉政権は国連で真っ先にこれを全面支持し支援を宣言した、まさにアメリカの大である。これに対し国連総会でイラク侵攻に対し決然と反対演説を行ったのがフランスとドイツの両国である。結果はご存知の通り、70万人のイラク市民が犠牲となり、一人アメリカのネオコン戦争商人が富を稼いだ。日本の伝統的な強み経営理念や組織風土は根底から破壊され、凋落に歯止めが効かない。これを日本の本来の

姿に戻すに百年はかかる。それまで中国の属国にならないでいられるかを願いたい。

## 述懐 12-7

私がドバーで悪戦苦闘をしていた平成に年号が変わった頃、日本の大企業も実力主義、現場主義から肩書社会となり、これでは日本の将来はどうなる、ダメになると思った、この予測は一人川重だけでなく世界一を誇った製造業全体が馬鹿の一つ覚えで労賃の安い中国へ中国へ草木も靡く、安易な考え方で凋落していった。一番大切な苦勞して築いてきたノウハウを惜しげもなく中国へ奪い去られた。この大失敗は同じく平成時代に入り日本人船員の大量転職を招いた。世界に冠たる誇りと実力を有する日本人船員の職場を奪い、船員費の安いフィリピン、韓国、インド、東南アジアへ移し、日本の海運はその日本籍船と共に壊滅した。日本は戦後昭和の時代に築きあげたジャパン・アズ・ナンバーワンの地位を明け渡し、凋落の一途を辿っている。さらに近年は中国の脅威が迫っており、河添恵子女史が『真の近代史観』の懸賞論文の最後に述べた『我々は今こそ面目を見開き、戦時に突入したとの緊張感を持ちつつ、これからの日本の在り方を考え行動に移すべき時が来ている。』の言葉を日本人は胸に刻まねばならない。

# 徳永全護士からのメッセージ

## 天皇の地位が国民の総意に基づくとという憲法規範の意味について

2021年11月4日 22:22

先ほど、畏友から眞子様に関する自称保守派の不敬な言論を憂える電話をいただきました。彼は、憲法1条で天皇の地位が「国民の総意に基づく」とされていることの毒が回ってきたという感想を述べられました。僕は、ああ、憂国の士である彼であっても、反日サヨクがまき散らしている俗流、憲法解釈に基づくプロパガンダに乗せられていることを知って愕然としました。

いまだに憲法無効論を主張する人士が絶えない理由もなんとなく悟れたような気がしました。ハエ取り壺からハエを出すには、入ってしまったところに戻らないといけない、というヴィトゲンシュタインの教えがここでも妥当するのです。

憲法は1条で天皇の日本国と日本国民統合の象徴の地位につき、「主権の存する国民の総意に基づく」としています。畏友がいうには、国民の総意でなくなったら天皇は天皇の地位におれないという意味（すなわち、主人が国民で天皇は家来だという意味です）だということです。それが俗論というものです。最高規範である憲法は、守らるべき規範の形に事実を統制するもの

です。もし、「国民の総意」が天皇を望まない事態になりそうであれば、そうならないよう規制するのが規範としての憲法が命令する意味なのです。しかし、法律解釈に精通しない一般人はそんな風に考えるのかということは今更のように感じ、正しい解釈方法を説明しなければいけないんだなと痛感しました。

どういう事か。憲法制定当時、「国民の総意」が国家を象徴する「天皇」の地位の基礎であるという事実をいっているわけで、これは、俗称「人間宣言」として誤解されている昭和21年1月1日の天皇の「新日本建設に関する詔書」に基づくものです。すなわち、天皇の地位は、現人神であるという架空の観念に基づくという工の誤解を糺し、それが国民と天皇との歴史的な紐帯にあるというという事を確認し、日本の民主主義の基礎は五か条の御誓文にあることを確認するものだったわけですが、それは日本人にとっては誰にとっても当たり前のことでした。そして、その事を法的に表現して憲法に書き込んだのが「国民の総意に基づく」です。

法的には「国民の総意でなければならない」という規範的意義を有しているのです。万一、憲法が規定する「国民の総意」に基づく天皇の地位を揺らがせる動きがあれば、「そうならないようにしろ」というのが憲法の命令です。それがいやなのであれば、「国民の総意」で

あることを要請している憲法を改正しなさいということなのです。「国民の総意」は当時の現実であり（言言的意味）、将来的な規範（国民及び政府に対する要請）であるのです。ここでは天皇の地位を支えている「国民の総意」を否定し、これを揺るがそうとする人々に対して「憲法を守れ」といふべきことです。これは「現実（ザイン）と規範（ゾーレン）の乖離」の問題です。現実に合わせて規範を「変更（改正）」するのか規範に合わせて現実を「矯正」するのです。

憲法上、同じ「現実と規範の乖離」が問題となっているのが、ご存知、憲法9条です。9条が軍隊の保持を禁じているのだから、軍隊である自衛隊はあってはならない、「憲法を守れ」という主張を共産党をはじめとする戦後リベラルは主張します。

政府は自衛隊は憲法9条が禁じる「軍隊」ではないという解釈論をもって現状を追認してきましたが、憲法の規範ではなく主権の存する国民が長年容認している現実を尊重してきました。そして、これを憲法上明記することで憲法規範と現実との乖離をなくしようというのが自民党改正案です。すなわち、憲法1条の「国民の総意」と憲法9条の「軍隊の保持」とはちょうど対照的に「現実と規範」の「乖離と遵守」を位置を占めているという事なのです。おわかりいただけでしょうか。

僕がいつている「象徴冒瀆罪」としての「不敬罪」は、まさに「国民の総意」としての「国民統合の象徴」としての「天皇」の地位をいう憲法規範を護持するだ

めに必要とされる手段であるということです。明文をもって「総意」であることを要請している「憲法を守れ」です。

皇室である眞子様を公然と冒瀆する言論は、「国民統合の象徴」としての天皇」の地位、そしてそれが「国民の総意」であることを危うくするものです。これまで国民の良識に委ねて敢えて規制しないという立場をとってきたわが国の法制ですが、眞子様騒動を見る限り、保守派ないし愛国派がこの始末では、積極的に取り締まることで、「国民の総意」である「象徴としての天皇」の地位を護らなければならぬ局面にきたかのように思えます。少し補足します。

憲法上の文言の意味について解釈が分かれる点において「国民の総意」と似た事例としては、憲法41条の国会の地位について「国権の最高機関」としていることについてあります。宮沢俊義以来のかつての通説は、「最高機関」とは「政治的美称」であって規範的な意味はないとしました。これを政治的美称説といいます。これに対して現代の通説である佐藤幸治は、「最高機関」という以上、最高機関に相応しい扱いがなされるべきだという規範の意味を持たせるべきだとし、権限の所在が明らかでないこと、例えば緊急事態宣言について国会の承認を要する等の規範的意義が帰結するとしています。「国民の総意」についても、それをもって「政治的美称」とおなじような



規範的な意味のない規定だということも可能ですが、いやしくも憲法が銘記していることについて無意味と解釈すべきではなく、それが「国民の総意」を護持すべきだとするいわば国体擁護条項として解釈すべきだと考えています。主権者たる国民の総意に基づく国民統合の象徴なのですから、天皇の地位は、主権の存する国民の具現化というてよく、しかも、その根拠が「国民の総意」にあるのですから、国民の選挙による議員によって構成される最高機関としての国会の上位にあるものという事ができます。「上位」の意味ですが、それは政治的な権力ではなく、その文化的な権威のことをいうと解し、権威の源泉を具象化した最高機関としてのありようが「天皇」という事になるわけです。とにかく、その改正の経緯に照らして明らかのように、日本国憲法は、天皇の地位を決して軽んじるものではないのです。また、「国民の総意」という表現は、ゆえに日本を解体するために作ったものではなく、昭和天皇の詔勅に基づいているのです。その事を、「たかが象徴」だとか「国民の下僕」だとか「人間宣言」だとか、事実と真逆に捉えるサヨクの俗流解釈に流されているところが情けなくてしかたがありません。

「国家と国民統合の象徴」「国民の総意」といった憲法上の「天皇」の地位について、保守派がよく認識できていないというところに、現在の天皇を軽んずる言動をして恥じない昨今の風潮があるのではないかと懸念しているところでは、比較的保守的な弁護士連中や教授連中の意見を聞いて回ると、天皇制のことを積極的に反対とまでは言わないとしても、本心は「どうでもいい」と考えているのが大半であることが判る。いい加減な知識をもとにご高説を垂れる連中も少なくない。みな、皇室などは、そのうちなくなるだろう、それでも誰も困らない・・・程度に考えている。小室圭問題を国民の玩具にしてしまうことで皇室の尊厳は廃れることはあっても復興することはありえない。共産党と中国の工作は、当然のことながら、そこに日本の弱点があることを知り、徹底破壊

### 眞子内親王殿下の御結婚(4) 小室圭くん、がんばれ!

2021年11月30日

秋篠宮殿下が眞子様のご成婚に祝意を述べられないこと理由は、これを口汚く罵る週刊誌やネットの世評に配慮されていること、内心どんなにか娘の門出を祝いたいと願っておられることか。今上陛下は秋篠宮の意向に配慮してのこと。これでは皇室は日本国民統合の象徴ではなく、日本国民の意向と都合に振り回される悲しきペットである。そう思われませんか。そして、皇室の結婚は、昔も今も安全保障上の問題である。ハプスブルグ家が欧州を制覇した時代のことを思えばよい。戦国大名の婚姻戦略をみればよい。今は、安全保障上のリスクがある。

今でも、比較的保守的な弁護士連中や教授連中の意見を聞いて回ると、天皇制のことを積極的に反対とまでは言わないとしても、本心は「どうでもいい」と考えているのが大半であることが判る。いい加減な知識をもとにご高説を垂れる連中も少なくない。みな、皇室などは、そのうちなくなるだろう、それでも誰も困らない・・・程度に考えている。小室圭問題を国民の玩具にしてしまうことで皇室の尊厳は廃れることはあっても復興することはありえない。共産党と中国の工作は、当然のことながら、そこに日本の弱点があることを知り、徹底破壊

工作を目指す。

秋篠宮批判まで飛び火すれば、悠仁殿下の正当性に対する疑問符を増やすだけだということに対してどうして想像が及ばないのだろうか。親愛なる姉の国民に対する恨みのような感情は悠仁殿下の内心に蓄積していくことは避けられないであろうに。彼が、「もう天皇」は辞めたと言いつい出したらどうなるのか。せめて国民が大事に大事に奉らなければならぬはず。統合の軸を失った国民は突然ばらばらになり利害関係と損得勘定で結ばれたビジネスライクな人間の集団となってしまふ。そのことこそが、安全保障上の問題なのである。どこかで日本の良識が発動するのだろうか。そんな奇跡が起こることを心から願う。

小室圭、がんばれ、なんとか司法試験くらい合格してくれ。眞子様と日本国民を安心させてくれ。みんな心の中では君を応援している。それがどれだけ困難な道であるかは、よく知っているつもりだ。そしてみんなそのことを知っている。お願いだ。そのことを、それが日本国民の良識だと信じ、精一杯頑張ってくれ給え日本人というものは、それがどんな男であつても、地を這いながら前へ進む努力する姿には、頭を垂れる「謙虚さ」をもっているのだから。

### 神奈川 岩越豊雄

弁護士 徳永信一様  
日本の伝統文化の中心、皇室の存続を願う文、共感しました。

### アイデンティティ主宰 葛田浩一

同感。徳永先生の「ご意見を強く支持します。」

### 呪いの正体

2021年11月23日

日本国民はいまだに敗戦のショックによる反日サヨクの詐術に惑わされたままです。僕は、次の5つの迷妄が日本国民にあると考えています。

- 1 昭和21年1月「人間宣言」の嘘 (新国家穿設の詔勅の曲解)
- 2 日本国憲法1条「国民の総意」の詐術 (サインとソルレンの錯綜)
- 3 「国家と国民統合の象徴」という国体 (国体変更論の強弁)
- 4 八月革命説の捻転 (コップの中の革命)
- 5 ハンディキャップ国家論の罫 (自縄自縛の変態ゲーム)

5つの「呪縛」といった方がよかったですね。これらの「呪いの正体」を明らかに示さなければなりません。

この動画 (注:眞子様を批判するYoutube動画) が、「普通の人の感覚」って、まじっすか。この種の洗脳工作動画に本当に共感しておられるのですか。これ。その作りからみて、相当金もかかっていますよね。情報の収集も個人の暇つぶしでできる範囲を超えていますよね。誰が資金を提供

しているといますか。誰が、シナリオを描いていると思われませんか。

そもそも皇室が国民の血税で生活しているという上から目線。国民が皇室を養っているのだといわんばかりの「皇室ペット論」。これは、紛れもない、反皇室宣伝工作動画ですよ。そんなのをありがたがってどうするんですか。週刊誌レベルの下衆を「普通の人の感覚」って呼んでいるってことですよ。だから、そんなグズの目線で、小室問題を取り上げるべきではないと何度も注意しているのです。

眞子様を「眞子」と呼び捨てたり、秋篠宮の教育を批判したり、やりたい放題です。秋篠宮家批判は、令和の次の天皇となる悠仁親王の尊厳を貶めるものでしかありません。たった400万円の借金問題を重大事のようにとりあげ、それが皇室の費用から出ていると示唆するバカの話をどうして信用するのですか。

そもそも、それなら、どうして眞子様は一億数千万もの「退職金」を辞退なさったのでしょうか。堂々と受け取られるべきでした。全く無茶苦茶です。それでも、そうだ、そうだと言っている国民がいるとしたらなんと情けないことです。そもそも、僕は似たような話の相談新地のホスナスに100万円貸したの、300万円だまされたの、結局一回もやらしてもらえなかったの、エッチまでしたのに僅かな手切れ金で捨てられただの、は、山のように聞かされてきました。率直に言って、弁護士として小室圭の母親がなる人物に

対し、400万円なる援助金を返済する必要があるのであれば、そうしたプライベートでセンシティブな話を週刊誌に売った人物に誠があるようにとは思えません。こんなネタに飛びつく週刊誌は、当然、パパラッチ気分で皇室の醜聞を楽しむ俗情と結託したものです。われわれ保守派が、そのような皇室を貶めるような俗情にいと簡単に巻き込まれてしまった。いわば反日左派がした情報戦に完敗したことは、本当にがっかりしました。僕には小室圭氏がなぜ批判されなければならないのかさっぱりわかりません。日本の伝統としての「恋」を象徴している皇室に生まれた眞子様の恋心を獲得したというだけで、男性としての能力と資質としては十分だと考えています。

日本の姫、眞子様に想い人ができたという事だけで、国民は大いに慶ぶべきでした。小室圭という若造を「マイ・フェア・レディ」よろしく「プリティ・ウーマン」よろしくジェントルマンに仕立て上げ、姫と結婚する現代の「アラジンと魔法のランプ」のような御伽噺にして子供たちに語り聞かすぐらいの器量が日本国民にあつてしかるべきだったと本当に残念に思っています。

天皇の象徴としての地位が、「国民の総意」に基づくものであるということを確認し、捻じ曲げて宣伝している、この種の反天皇制動画を保守派が持ち上げているということ自体が、国民の墮落を象徴しています。「国民の総意」の「国民」を、今生きている下衆をいう、という勘違いから生じているのです。「国民(ネーシ

ョン)」とは現在、未来、過去に渡って存在する抽象的統合体です。個々の国民の集合ではないのです。なんとも嘆かわしいことです。

昭和天皇と日本の生き残りのリーダー達が「国体を護持」するために、達成した終戦、そして日本を解体するべく乗り込んできたマッカーサーの士との反天皇主義を逆に洗脳して天皇擁護に転じた昭和三十九年と日本の伝統の底力、昭和三十九年の戦争責任を東京裁判で問おうとしていた極東委員会の策動を、味方にしたマッカーサーと共闘することで、その鼻を明かした日本国憲法の成立。その本来の意味解釈を捻じ曲げてきた左派、反日勢力の戦術にやすやすと乗せられてしまった保守派、右派のふがいなさにただただ呆れるばかりです。

僕が主張している改憲は、その国体の護持に向けた、憲法の本意を回復する手段です。日本国憲法は、「国体を護持」するための唯一の手段であったことを思い出してほしいのです。

昭和天皇の「人間宣言」、宮沢の「八月革命説」、憲法1条の「国民の総意」、「東京裁判史観」とこれを正当化する「ハンディキャップ国家論」。更には、未だに右派のファンタジーとして残存している「押付け憲法無効論」。これらの迷妄を拭い去らねば、昭和天皇の「聖断で護持された日本の「国体」が回復する日は訪れられません。

**トジネスマン育成塾 野宗邦臣**

徳永先生のお考えに全面的に賛同いたします。昨今の「皇室をめぐる件」については、次のように考ます。

- ①言葉に余りにも品性を欠く。(品性を欠けば、サヨク＝ウヨクとなります(品性を保つてこそ、真の保守と言えます))
- ②尊王でなければなりません。(「皇室を敬う心が大切であり、それが根本です」)
- ③いわゆる左翼の戦略、戦術に惑わされてはならない。(甘すぎる) 徳永先生のご指摘の通りだと思います。
- ④GHQの戦後の虚妄についての自覚を持たねばなりません。(采けてきている)

以上、言葉足らずですが、感想まで。尚、徳永先生の論稿については教えられるところ多く、楽しみにしています。益々のご健筆を期待しております。

**改革土壌の醸成について**

**2021年11月16日**

ポピュリズムっていう言葉は、エリートがない社会であり、エリートがいてエリートに対する敬意がある社会をポピュリズムとはいわないってのがエマニュエル・トッドの定義であり(トッド『大分断』p.66、それゆえ彼はフランスはポピュリズムだが日本はそうではないという。東大法学部卒のエリートに対する信頼が大量レベルにおいて残っているといいます。)、これに従えば日本も維新も



ポピュリズムとは言えないことになりませんが、維新は「改革」を掲げた保守政党（アンチ・リベラル）であり、ライバルである自民党から保守票を引きはがすために、自民党との差異（これを彼らは選択肢といいます。英語でいえばオルタナティブです。）を意識しています。

自民党の9条改憲案は、中国の脅威を実感しているリベラルの現実主義者（リベラルには左派原理主義的理想主義者と現実主義的穏健派がいます。）を取り込むことを意識して極限まで「穏やかな表現」をもちいています。それが「自衛隊の憲法明文化」という現状追認の改憲案（安倍案）の形で成り立ったのですが、保守派の原理主義者からすれば、それは腰抜け憲法のまじじゃないか、自衛権を明記しろ、いやいやきちんと「国軍」としての位置づけを明確にしろ、あるいは、公明修正案（予想ぎつとでていますよ。）の「必要最小限」条項は認めるな、という声があがります。

オルタナティブという自らのアイデンティティを強調するため、維新は必ず、このあたりの原理主義的保守層をとりこむためのアドバルーンをあげてくるはずですが、そしてその案は、50歳以上の保守層ではなく、200代の若年層に対してアピールするものになります。

大阪での維新の躍進は、吉村の口コナ対策が圧倒的に評価されたからです。別に結果がどうのということではありません（僕は、飲食店に対する規制に

反対です）。テレビに出てきて、「本当に一生懸命やってはった」という政治姿勢に対する評価です。大阪のオバちゃんたちは、橋下や吉村といったやんちゃ小僧が大好きです。自分たちの方をみてくれるし、一生懸命だからです。大阪のオバちゃんたちは、維新の候補を自分たちの子供のようにテレビの前で拳を握りしめて応援していました。もう理屈じゃないのです。このあたりの雰囲気は大阪にいないと分からないかもしれせん。そうした維新に対する幻想は、少なくとも参院選までは持つでしょう。維新とすれば千載一遇のチャンスです。今は、中国脅威論に対し、したり顔で、軽侮をしていたリベラル穏健派の重鎮たちも、一国二制度の国際的約束を平気で踏み越えた香港の顛末、日々緊張が高まる台湾情勢をみて、中国脅威は認めざるをえません。すると土俵を侵略的行動回避の方法論に土俵をこしらえるしかないのですが、これは技術論的で賢い議論になりかねず、庶民から見れば、屁理屈を並べ立てるようになりかねません。

9条自民党案が限りなく「緩い」ことを指摘して、自民党の一枚ないし二枚上の強硬案を提出してきます。（これは誰が言っているではなく、徳永個人の予想だとみてください。僕は維新よりも維新的です。大阪の保守層は共産党と組んだ自民党県連を心の底から軽蔑しています。）

旧社会党系の解放同盟にすりよってズブズブ利権体制を築いてきた自民党に対する潜在的嫌悪感が噴き出したのです。このことにより、維新は、自民党だけでなく、共産党として立憲民主党に対する差異を際立たせることができます。更に、大阪維新は、大阪の統治的経験を前に打ち出して、緊急事態条項の改憲案も主張することになります。現実的には欧州の緊急事態条項よりも、緩々のものになりませんが、自分たちの統治経験に基づいて、「コロナはなんとかあったが、それ以上の感染症が蔓延したことの為に、今回のことを教訓として」備えあれば憂いなし」として緊急事態条項を主張し、制度設計は具体的な立法に委ねるという主張をしてくるでしょう（僕が維新の参謀ならそういう作戦を立案すると思います）。

「緊急事態条項（これ本来は中国が尖閣侵略を開始したときに備えた法整備になります）、当面、そのことよりも新型ウイルス感染に対する対応を主眼とした形態をとります。」案、もう一本は9条改憲自民党案＋アルファです。維新は、自民党案が「腰抜けだ」とか中国脅威論に抗し得ないとか、さんざんに批判した拳句、緊急事態条項案に対する自民党の譲歩を得て、9条自民党案に軟着陸することになるでしょう。このところは、僕の従前からの予想なのですが、中国の動きと欧州の対中ソフトの展開次第では、逆（9条について維新案に自民党が寄り、緊急事態条項については自民党案に維新が寄るという展開）もありえます。事実は小説よりも奇なりきです。

9条自民党案が限りなく「緩い」ことを指摘して、自民党の一枚ないし二枚上の強硬案を提出してきます。（これは誰が言っているではなく、徳永個人の予想だとみてください。僕は維新よりも維新的です。大阪の保守層は共産党と組んだ自民党県連を心の底から軽蔑しています。）

立憲民主党は年内の党首選の論点になる野党連合路線を継続するか否かという事になります。どっちつかずになるでしょう。これで国民を巻き込んだ議論をしたという土俵改憲の土壌が成立します。

憲法審査委員会がとりまごめる憲法改正案は、2本立てになるとみています。一本は、維新が旗を振って主導する



# 「筆は剣よりも危うい」 新嘗祭に誓う

2021. 12. 01 武者 三澤浩一

「新嘗祭おめでとうございます」

11月23日の新嘗祭には、こう挨拶を交わすことができることを熱望している。このように願うのは、新嘗祭だけではない。2月11日の紀元節も、2月23日の天長節も同じだ。お正月と同じく「おめでとうございます」と慶びの言葉を交わしたい。

11月23日は新嘗祭である。新嘗祭についての説明は、日本の祝祭日を考える会編『日本の祝祭日を考える』（展転社）の付篇1「現代祝祭日・記念日一覧」（中澤伸弘さん）から引用させていただく。

◇新嘗祭  
宮中・全国諸社で斎行。宮中では神嘉殿にて天皇陛下が新穀を皇祖はじめ神々にお供えになり神恩感謝の後、自らも召し上げる祭典

現在は「勤労感謝の日」という祝日となっているが、本来は最も重要な祭日なのだ。祭日を復活させることは、戦後体制の我が国、ヤルタ・ポツダム体制に隷属しているジャパンでは至難というよりも、不可能だろう。

先人たちの血と汗と涙が滲む奮励努力によって、2月11日は「建国記念

の日」として制定された。昭和天皇さまのお誕生日である4月29日は「みどりの日」から「昭和の日」へと改められた。しかし、建国記念の日には神武天皇さま、昭和の日には昭和天皇さまのお名前はない。残念無念だ。とはいっても、大きな一歩、大きな前進である。この成果を勝ち取ってくださった方々には心から感謝と尊敬の誠を捧げる。

## 「なるほど納得政経塾」 -65- 「ユネスコ世界 記憶遺産」

12.02 神奈川大教授 小山和伸

記憶遺産の政治利用

筆者は、現在パリのフランス国立社会科学高等研究院(CEPRIS)に、客員研究員として一年間の任期で滞在中だが、「なでしこアクション」の山本優美子代表の勧めにより、日本の外務省経由で、尾池厚之ユネスコ大使と面談の機会を得た。去る九月十五日、慰安婦問題を専門とする新任の塚田実貴子一等書記官のパリ日本代表部着任に合わせて、公邸内で昼食を交えながら懇談した。(写真) 会談内容は、現在韓国が進めている「慰安婦世界記憶遺産登録」への対応である。まず結論から言えば、現在韓国が主張する「強制連行20万人」の主張通り

りに登録される可能性はほとんどないというのが、尾池大使の観測である。現在、山本優美子氏や加瀬英明氏等と共に、「慰安婦世界記憶遺産登録」を阻止しようとする我々の主張は、史実に反する登録は断じて許されないといいものである。

2015年10月10日、「南京大虐殺」が世界記憶遺産に登録された。史実に反する、日本軍による捕虜・一般市民30万人の虐殺という、ありえない話が中国共産党政府の強引な申請攻勢によって登録された。ここで南京の真実に言及する枚挙はないが、1937年12月13日、日本

### 曾野豪夫(88 元商社マン)

在パリ 小山和伸先生

百人の会よりの回覧よりの貴論(「やまと新聞」)を拝見致しました。

慰安婦問題を専門とする一等書記官がパリ日本政府代表部に派遣されているのを初めて知りました。外務省及び関係省庁は、慰安婦問題に対する政府の対応をもっと日本国民に広報をするべきであると思いました。

私は、購読している産経が「ライダイハン」と書いたら「棘大韓」と漢字で書くように、この都度メモを送っています。漢字圏の人々には一目瞭然です。(日本人なら「韓国から大きな男が来た!」と判じるでしょう)漢字を解せなくなつた韓国人も「韓」の漢字は読めるでしょうから「棘大韓」の意味を勉強するはずです。(私は残念ながら他紙を購読して

いませんの投書はしていません。2-3回弊「ぶつぶつ」には書きました) 最近韓国でもライダイハンが問題になっていると小さな記事が産経に2回程出ていました。

慰安婦問題については見解はありませんが「朝鮮人強制連行70万人」説についての愚見をお伝え致します。韓国人は中国人同様にその表現に「針小棒大」の癖があるのではないかと思えます(70万人説)。私は平成14年(2002)、久米宏氏に以下の如き書信を送りました。

テレビ朝日 ニュース・ステーション  
ニュース・キャスター 久米 宏様  
平成14年(2002)11月30日

拝啓

11月4日夜のニュース・ステーションにて、確か清水建宇氏が、「戦争中に朝鮮半島から朝鮮人の強制連行が70万人と言われている」との趣旨の発言をされ、久米宏氏も反対されませんでした。

下記につき、質問致します：

1. 「朝鮮人強制連行」の法律的根拠と定義、及び帝国日本臣民に対する戦時中の「徴用令」との関連。

2. 「朝鮮人70万人強制連行」と言われている(「)の根拠、出典、時期の明示。(誰が言い出したのか、誰がそれを云い広めたのか)

3. 仮に「70万人」の朝鮮人が日本に「強制連行」されたとして、

それはどのような法的根拠により、昭和何年何月から何年何月までの期間であったのか。

小生、本件の研究専門家ではありませんが、多分巷間で、「日本帝国の領土であった朝鮮半島に住む相当数の朝鮮人が、戦争末期に近い昭和16年2月の朝鮮総督府の『国民徴用令』の適用により労働者として日本に移動させられたことを『強制連行』と一部の人が言い換えている」ことを清水氏は指しておられたのではないかと愚考致します。(同徴用令は日本人には前年に適用、

つまり朝鮮人台湾人は日本人よりも半年間優遇されていた)その期間を、仮に施行された昭和16年9月から翌200年2月までの15ヶ月間に集中されたと仮定し算出すると以下の通りとなります。(3月には関門海峡はアメリカの魚雷敷設と潜水艦の跋扈のため往来が途絶していた)

70万人÷6ヶ月＝月当たり12万人  
÷30日＝1日当り4,000人

朝鮮の国民徴用令の施行は6月、玄界灘を米軍に封鎖されたので3月迄しか航海が出来なかった。敗戦直前の日本に、毎日毎日4000人前後の徴用された民間人を朝鮮半島から日本に運ぶ組織体、船舶(及びその燃料)、食料、衣服、工器具、宿舎などが用意出来たのでしょつか。例えば、豪華客船と言われた海軍徴用船鎌倉丸(7,500トン、平時定員838名、乗組員323名)でも、昭和18年4月、神戸港でデッキにあふれかえる程の軍人軍属徴用者

(日本人台湾人朝鮮人。観光客なし)を載せても6000人余りであった(船倉にも物資と人間を押し込んで)。

戦艦大和の乗員は竣工時25000人、最後の出撃時3322人、生存者2700人。素人が単純に考えても、70万人を12ヶ月間で日本に輸送するには、1000人乗りの乗組員の船を1年間毎日毎日、4隻あて朝鮮半島の港々から出港させなければならぬと、と気がつきませぬ。残念ながら戦争後半の大本帝国には、そのような力は全くありませんでした。帰国船も同様です。

冷徹な批判の眼をもつジャーナリストの久米氏や清水氏(だったと思います)が、その点に気が付かれなかったのか、或いは「朝鮮人70万人強制連行」を主張したため数字的な詳細には目を瞑られたのかは存じませんが、もし私の考えに誤りがあるようでしたら具体的なデータをもちてご教示頂きたく、又実際のデータに基づき具体的数字を駆使した番組を放送して頂きたいと思えます。

上記に敷衍して、それら70万人の朝鮮人を、日本敗戦後誰がどのようにして朝鮮半島に送還したのでしょうか? 「徴用令」で本土にきた朝鮮人の内、自らの意志で残留した2555人を除いて、全員韓国に帰国しています。昭和20年8月23日、朝鮮半島への帰国希望者3725名(家族を含む)を乗せた浮島丸(4713トン)、平時定員673名、乗組員61名)が舞鶴港を出港後触雷沈没し、朝鮮人524名が死亡したことは有名)

尚、清水氏から「創氏改名」についても言及がありました。法律的には強制ではなく、任意でした。お間違いないように。そもそもなければ日本帝国陸軍中将洪思翊閣下の存在は無かった筈です。それとも軍人には創氏改名は適用されなかったのでしょうか?

戦前戦中も大阪尼崎両市には朝鮮人名の市会議員がいました。おかしいですね。(後略) 敬具

つまり私が言いたいことは、韓国は「従軍慰安婦20万」と唱えているが、「朝鮮人徴用工70万人」説でも分かるように、数字を「針小棒大」に表現する癖があることを日本政府はパリでロカすることは如何だろうか、ということ(私は、韓国が朝鮮人徴用工70万人全員を日本に強制連行した、と言っているのかどうかについては不確かです)

戦時中、日本軍は1万人の軍人と軍需物資を大陸内や南方方面に輸送する列車や船腹の確保に悩んでいました。ついでに、中国側の唱える南京虐殺30万人説も「針小棒大」の極みであることも再叩きされては如何でしょうか。寝た子を起す危険性もありますが、あらゆる機会を得て常に日本の立場は外国で記録に残すべきであると愚考致します。

もし何らかの理由で日本外交官がそのような発言ができないのであるのなら、パリ又は日本で影響力のある民間人(日本人に限らず)に発表して頂くことは如何でしょうか。素人の愚案ですが要路

の方々のご相談頂ければ幸いです。パリでのご研究の成果が得られますように、また新型コロナウイルスに気を付けながらフランス料理とワインを堪能されますように。私には2度と飛行機に乗る機会はないでしょう…

## —沖繩考—

### 11.30 映画監督 野伏翔

11月19日から三日間沖繩に行ってきた。一日目は「沖繩県祖国復帰50周年記念映画—美ら海の光—」の顧問に就任して頂いた沖繩県の地方議員との懇談と映画の構想の説明会。そして翌日の20日は映画のイメージソング「私の美ら海」のプロモーションビデオの現地撮影だった。

懇談会は映画の説明と同時に、国連による「沖繩先住民族勧告」《撤廃》を要求する地方議員の会の設立も兼ねていた。「沖繩先住民族勧告」とは国連人権委員会から日本政府に対して出された勧告で、既に5回も出ている。

日本政府はこれを認めているわけではないが、強く抗議もしていない。この勧告は明らかに中国とその親派の日本人の画策によるものであり、すでに北京には琉球独立党と言うものがある。誓い将来北京に琉球臨時政府を立ち上げれば、中国の「人民解放軍」はすぐにでも「先住民族保護」の為に称して沖繩に侵攻できる。何せ国連で



は日本は未だドイツと共に敵国条項の対象国。そして中国は国連の常任理事国。国連理事会の承認なく日本を攻撃できる。北京オリンピックが終われば中国は必ず台湾に何らかの圧力をかける。

現在中国は3300発の核弾頭を持っている。アメリカは400発。日本の現在の平和がこのまま何とか続くだろうと多寡をくらない方がよい。一党独裁国家は国内を弾圧するか、外に膨張するかしか、その権力を維持できない宿命にあるのだ。彼らは台湾には必ず手を出す。そして次が尖閣、沖縄である。

## 「武蔵野市住民投票条例」例「反対に立ち上がる！金子宗徳氏の闘い！」

2021. 11. 22

外国人参政権の是非を巡り風雲急を告げる武蔵野市で、反対活動に立ち上がった金子宗徳氏に注目である。

金子氏は亜細亜大学で教鞭をとり、武蔵野市で生を受け在住しているれっきとした市民である。主に国体論など国の研究者として著名である。

里見日本文化化学研究所第3代所長、日本国体学会理事、月刊『国体文化』編集長を務めるというそうそうたる経歴を持つが、市民活動に関しては人生初のことだという。同氏によれば、自

治体条例という形をとっているが、まごうかたなき外国人参政権への一歩であり、単に武蔵野市だけの問題ではないと述べている。

国会議員もこの条例に関し、衆議院・長島昭久議員、参議院・青山繁晴議員なども反対阻止を訴えている。武蔵野市議会でも自民系議員が反対表明をしており、市民もほとんど知らないなかでの不意打ち条例だ。今月19日から始まる定例絵画始まったが、反対する会では、市及び市議会に対し、廃案もしくは継続審議を求める陳情書を提出した。更に反対署名活動も行っており広く賛同を呼び掛けている。

条例案では市内に在住し3か月以上経過した者に対して投票権を与えるということになっている。他の外国人優遇条例と同様に、一旦制定されれば効力を発揮し、やむに廃案のケースは皆無無いつてよい。

日本を外国人の手に委ねる隠された地雷であり、いつなるとき爆発するかも不明である。

## 「憂国の直言」林外相は韓国に「ミミ」も譲るな

朝鮮近現代史研究所所長

2021. 11. 16

松木國俊

第二次岸田内閣で外相に就任した林芳正氏は、11月11日外務省で開かれた記者会見で、「韓国は重要な隣国だ。

非常に厳しい状況にある日韓関係をそのまま放置するわけにはいかないというのが私の考えだ」と述べた。

この発言は極めて軽率かつ有害である。「このまま放置できない」ということは「日韓関係を改善するために日本が譲歩する」というシグナルになるからだ。当然韓国側は「放っておけば日本が歩み寄ってくる」と読んだに違いない。

過去の日韓関係を振り返れば、韓国がいかに日本を侮辱し、無理難題を突き付けて来ても、「友好関係の維持」を最優先する日本側が折れて謝罪や譲歩を繰り返してきた。だが譲れば譲るほど韓国側は増長し、日本の誠意も全て裏切られ、今日の最悪の日韓関係に至ったことを我々は忘れてはならない。

慰安婦問題では韓国側が「強制連行を認めなければ韓国の世論が納得しない。日韓友好のためには是非認めて欲しい」と迫ってきた。日本政府は安易にこれを受け入れ、韓国の要求に沿った「謝罪文」を作文した。

時の金永三大統領も事前に文面「目を通し、「これで最終解決とする。補償も必要ない」という韓国政府の確認を取ったうえで、1999年8月に発表したのが「強制連行」を認めた「河野談話」であった。自民党の「河野談話検討チーム」の調査でその経緯が明らかにされている。

ところがどつたらつ。解決どころか、ここから韓国による「慰安婦問題」追及が本格化した。韓国の目的は日本政府を騙して強制連行を認めさせ、日本の国際的地位を引き下げ、外交的に優位に立つ

ためのカードを手にする事だったのだ。

「河野談話」は「強制連行があった証拠」となり、韓国は官民を挙げて「日本は性奴隷国家」だったと世界に喧伝した。さらに世界各地に慰安婦像や碑を建て、国連にも慰安婦問題を持ち込んで対日非難決議を出させている。日本外交の完敗である。

1995年には村山富市首相がアジア女性基金なるものを立ち上げ、その「よびかけ文」には「十代の少女までも含む多くの女性を強制的に『慰安婦』として軍に従わせたことは、女性の根源的な尊厳を踏みこむ残虐な行為でした。」と書いている。

村山首相やよびかけ人達は韓国の「嘘」を信じて、我々の祖先を徹底的に貶めたのだ。結果的にこの基金は慰安婦問題の解決に何ら役に立たず、逆に「日本の残虐行為を具体的に日本政府が認めた」という事実のみが世界に広がった。

さらに2015年末、日本政府は告げ口外交を続ける朴槿恵大統領に配慮し、韓国政府と協議の上、慰安婦をめぐる「日韓合意」を世界に発表したのだ。

ここでも安倍首相が「お詫び」を表明している。この合意は最終的に韓国側によって破棄され、「日本の首相がお詫びした」という事実だけが韓国側の「戦利品」として残った。河野談話を補強した形となり、安倍氏の最大の失策と言える。

歴代首相も外務省も外交の目的が

「隣国と仲良くすること」と考えているのではないか。もしそうなら日本の国益をどどん譲ればよい。北方領土を放棄し、竹島は韓国に、尖閣列島も沖縄も中国に献上すれば、相手国は喜んで日本と仲良くしてくれるだろう。しかしそれでは最後は日本国がなくなることになる。

外交は国益の分捕り合戦であって「譲り合い」ではない。そこに「誠意」などを持ち込めば相手側の思いつぽとなる。まして「謝罪」は完全敗北だ。謝って済む外交などありえない。謝罪すればそこから責任追及が始まるのが世界の常識なのだ。

現在、韓国司法は日韓間の条約を無視して日本企業に補償金の支払いを命じ、韓国内で被告企業資産の現金化手続きが進んでいる。

だがここで日本が折れて謝罪し、少しでも金をだせば、「補償問題は完全かつ最終的に解決済」という日本側の立場は「蟻の一穴」から崩れる。韓国にすれば「植民地支配の落とし前がついていない」状態となり、日本は永久にゆすり・たかりの対象となるだろう。相手は大陸的「騙し合い」交渉術に長けた韓国である。これから徴用工問題をめぐり「日韓友好のため」とあらゆる甘言を弄し日本に譲歩をせまるに違いない。しかし日韓関係悪化の原因を作ったのは韓国であり、すべての非は韓国側にある。

譲歩の余地など全くない。日韓関係を健全な関係に戻すには、日韓関係を「放置しない」ではなく「放置」して

猛省を促す以外にないのだ。林外相は日本の国益を守るために、韓国には一ミリも譲らないという決意を今こそ内外に示すべきである。

### 山口 中嶋 文雄 拝

松木國俊様

まったくそのとおりです。

【林外相は韓国に一ミリも譲るな】です。先ず、河野談話の撤回を河野洋平氏にせせる事。そして国賊朝日新聞に日本を貶めた罪は重いことを国会で追及すること。

韓国とはサヨナラすべきです。無視が最良の外構です。一切相手にしない。すれ違いの関係でいいわけです。話をかみ合わそうとしないことだと思えます。

### 千葉工科大学名誉教授 荻林成章 拝

まったくその通りです。【林外相は韓国に一ミリも譲るな】です。

過去に安易にお詫びをした政治家や朝日新聞には猛省をしてほしいものです。外交に相手への忖度は百害あって一利なしです。理性的に対処しなければなりません。

ここで、一つ提案があります。日韓関係を放置するかしらないかではなく、そのことも一つの選択肢として、又過去のお詫びの歴史の誤りを踏まえて、今後どのような対策をとれるか、様々な選択肢について韓国側の反応を想定して、日本にとって最も有利な選択を検討することです。それにはゲーム理論の枠組みが有効です。

林外相には、ゲーム理論の枠組みを用いて、(専門家の知恵も活用して)日本にとつて有利となる合理的な選択肢を検討してほしいものです。相手国への感情や一部政治家の意見、などで多数決を決めてはいけません。

我が国として過去の政治家の誤りを猛省した上で屈辱を晴らす必要があります。韓国側の論理がいかに事実と反する不合理なものかを国際的に叩くすることも必要かもしれません。

ただ単に放置するだけでは、韓国の言い分が既成事実化し正しいという誤解を国際的に植え付けてしまう可能性があります。韓国に

【はかにされている】現状から脱皮するために、より積極的な行動をとることはできないものでしょうか。

そのような選択肢があるかどうか、日本にとって最も有利な選択肢は何か、ゲーム理論の枠組みを用いれば答えを引き出すことができます。

### 映画紹介「燃えよ剣」

#### 11.23 論家 三浦小太郎

司馬遼太郎はある時期まで、幕末や明治維新、そして日露戦争までの歴史を輝かしい日本近代化の叙事詩として描いた国民作家として脚光を浴び、又、現在はむしろ保守派から、戦後民主主義史観の典型の一つとして(特に「坂の上の雲」「殉死」における乃木將軍への描き方など)が批判されるようになっていく。

しかし、本質的にこの人は最も良い意味での「娯楽作家」であって、司馬作品に過剰な意味づけをしたり(本人も晩年には文明史家のようにふるまっていたことも事実だが)増して、歴史「小説」ではなく歴史そのものとして読むこと自体がそもそも間違ったことなのだ。

そして、司馬作品で私が今も代表作と思うのは「燃えよ剣」「峠」そして「竜馬がゆく」であり、特に「燃えよ剣」は今も愛読する作品である。この小説が映画化され、私さっそく観に行くことにした。

原作「燃えよ剣」の魅力は、新選組、特に土方、近藤、沖田らを、徹頭徹尾「可愛い不良青年」として描いたことである。もともと司馬の筆は「男の可愛さ」と「滑稽さ」を描くときに最もさえるのではないかと思うが、本作はその良さが最もよく出た作品の一つだろう。

武士に憧れた田舎の不良青年たちが、たまたま時代の波に乗って京都に赴き、いつの間にか出世してしまう。

そして「もう俺たちはきちんとした侍、身分高きものなのだ、国政にもかかわり天下を動かさねば」と勘違いする近藤勇と、永遠の不良青年で「俺は自分の剣と、昔からの仲間のおかげで、以外信じねえし、インテリの政治論なんか興味ねえよ」という土方歳三の二人の描き分け方が、実に効果的で、読者には双方に共感を持てるように描き出されている

# 各位。各団体等からの報告。ご意見

## 憲法9条

### 令和3.10.29 千葉 入野守雄

憲法の条をG7のマッカーサーが日本に押し付けたのは国際法違反の原爆を広島、長崎に投下したからである。欧米の法は目には目、歯には歯であり、日本が目には目で原爆を発、米国に投下を恐れ、9条で日本を亡ぼすために作った。従って戦勝国である国際連合は日本を敵とした敵国条項があり、核武装した常任理事国は何時でも敵の日本を核で亡ぼせる。

野党やマスコミ、9条を認める政治家は左翼親米である。現に尖閣列島は共産シナの軍艦に取り囲まれ、シナは沖縄を領土と法律で決めている。沖縄県民はDNAでもシナ人ではないのにシナ人と思ひ込まされた。日米軍事同盟はサンフランシスコ講和条約調印と同時に吉田茂首相が結び、北海道から沖縄まで米軍基地がある。

横田基地は東京を監視する軍事基地である。憲法の条は日本を亡ぼす法だから、米国は日本を絶対守らない。憲法の条を平和憲法と言つのは日本を守らない左翼反日である。樺太は間宮林蔵が探検し間宮海峡がある。世界の常識では樺太は日本領土である。ロシアはその後、武力で樺太、千島を奪い取った。武力がない明治政府は千島樺太

交換条約で樺太はロシア、千島は日本と国境を確定した。

昭和20年8月15日のポツダム宣言はソ連、中国、朝鮮に従えと記されている。日本が米国に武装解除され、ソ連軍は南樺太、満州、千島列島を侵略して日本女性を強姦した。日本女性は髪を切り顔に墨を塗り、身を守った。日本軍だけ売春婦を抱えていたと言つたが欧米の軍隊も売春婦を持っていた。従軍慰安婦と言葉を変える朝日新聞は英文で従軍慰安婦と発信する。

SHINA、CHINAは同義語。売春禁止法が施行されたのは昭和34年4月1日(1959)。日本人は白拍子、花魁などを差別していない。彼女達は大名や武将の側室になり結婚している。戦後米①国、ソ連、シナ、朝鮮は間宮海峡をタタール海峡と言ひ出した。新潟の対岸にあるウラジオストークはロシア語で東方征服である。

ソ連スターリン首相は1945年8月15日、日露戦争の仇を撃つたと手を打って喜んだ。千島や樺太を取り戻したいのなら、戦争で取り戻せと発言した。大阪維新の松井代表は丸山穂高議員が千島を取り戻すには戦争と発言しただけで除名し、ロシア大使館に謝罪した左翼反日である。⑤④

## 資格の緩和を検討

### 12-2 神奈川世論の会 木上和高

政府は人手不足に対応するため、外国人労働者の在留資格の緩和を検討しています。

在留期限がなく家族帯同も認められるので実質的な移民政策です。欧州ではこのような移民政策が社会を分断することも莫大な社会的費用の発生など国家運営に危機をもたらしました。

今回の検討では更に次のような当面の問題もあります。

- ① 自民党の総裁選・衆議院選の公約になり。寝耳に水。藪から棒。
- ② 国民への周知・意見募集なく拙速。
- ③ 生産性向上策の不徹底
- ④ 国内の労働力確保策が不十分
  - ・ 若年無業者・フリーター・ひきこもり等
  - ・ 女性の活用
  - ・ 賃上げ
- ・ 労働市場の流動化策検討、他
- ⑤ 経済界に求めた「3%超の賃上げ」と矛盾
- ⑥ 不法滞在防止のための入管難民法改正の未実施
- ⑦ 人口増対策の不徹底
- ⑧ 欧州の事例による我が国の課題と対策の明示なし

つきましては、拙速に実施しないように嚴重抗議をお願い致します。(首相官邸)

・ FAX : 03-3581-3883  
・ 電話 : 03-3581-0101

なお、地元国会議員にも要請してください。

## 11月25日は憂国憲法市ヶ谷台で自衛隊員に決起を促した日から今年で51年???

### 東京 奥本康大

三島由紀夫決起から日本は変わったのか? 憲法改正を唱えて楯の会のメンバーが自衛隊員に決起を促しましたが、自衛隊員は呼応せず、ヤジと怒号を浴びせるだけでした。最早これまでと死をもって最期の主張を日本人に訴えました。

あれから51年、日本は更に悪化の一途を辿っています。反日日本人という愛国心の欠片も持たない、政治家や大衆が増殖しています。それだけでなく、近隣諸国に忖度ばかり重ねてきたツケがまわり、今では昭和49年の危機感どころでは無くなっています。

三島由紀夫が自決した知らせを聞いて出光佐三は会ったこともないのに「真の日本人が居た」と感涙したのです。それだけでなく、翌年1月24日の三島由紀夫葬儀には川端康成葬儀委員長に無理を承知で弔辞を読まして欲しいと申し入れをしたのです。一度も面識もない出光佐三の申し

## 外国人労働者の在留



入れに関係者は戸惑ったと思いますが、最終的には受け入れられ、数人の方の一人として弔辞を読んでいます。その弔辞は出光佐三著の「日本人にかえれ」に掲載されています。

出光佐三のような国士には三島由紀夫の思いが瞬時に理解できたと言つことなのでしょう。日本人は覚醒しなくてはなりません。また三島由紀夫が成し遂げたかった思いを受けて日本を取り戻さなければなりません。

## 「住民投票条例」、外国人への付与を認めない

### 1.24 政経調査会 榎 泰智

11月20日、第三土曜日恒例となっている「社会の不条理を糾す会」の新宿駅西口街頭演説会に参加する。

東京都武蔵野市において住民投票条例案なるものが市議会に提案された。市政への市民参加を促すものであるが参加できるのは日本人に加え、市内に3カ月以上すむ18歳以上の外国人も含まれている。外国人参政権に道を開くものではないかと懸念する声も多い。この条例案には反対である。単に外国人を差別したり排除するものではない。市政や都政、そして国政においてもその地域、自治体・国家に関して提案をする、そして決定を下すというのは国民の権利であると共に義務でもある。自らが起こす投票という行動によって行政や国政が動く訳であるから、

当然に責任も伴う。

未来永劫日本に住み続け、これから産まれてくるであろう子々孫々の生活に對しても責任を負うことになるわけである。

それは権利を謳歌するといった楽しいことばかりではない。重責を担い苦痛に頭を悩ませるといったネガティブな側面も有する事となる。そのような苦難な選択をお客さんである来日してきた外国人に背負わせるのは忍びない。

この国の主権者たる日本国民が責任を負って住み易い環境を整えますからどうぞ安心してお過ごしください、この立場から反対を表明したい。

## 皇室の危機

### 2.18 純日本人会 代表 栗原茂男

昭和二十二年法律第三号  
皇室典範 第九条

天皇及び皇族は、養子をする事ができない。

前々から言われている事だけれど、皇室典範で天皇が養子を取れるとなくなれば皇室に関する色々な心配は減る。耳に入った話だと、皇室典範改正はかなりの時間が掛かるので、特措法で養子を取れるようにしようという案が政府内にあるらしい。皇室と云うのは本質的に憲法に矛盾する面がある。

### 【憲法】

第十一条 国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が

国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与へられる。

第十四条 すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的關係において、差別されない。

だから皇室、皇族は現代社会と矛盾が露呈しないよう行動されることが望まれる。昔から皇室の醜聞、艶聞は庶民にも漏れ伝わって来ていた。皇族も人間なんだからと庶民も納得し、おおっぴらにはそれに触れないようにヒソヒソ話で流してきた。そして宮内庁の仕事なのだろうが、庶民のヒソヒソ話で留めるように仕事をしてきたし、皇族方は憲法との矛盾が露呈しないように努力されてきたと感じる。

## 熟読玩味 蓮坊公爾

### 10-1 「新刊紹介」

『亡国の歴史教科書』井上寛康著、展転社・本体1700円。

『亡国』とは、消滅した民族意識と失われし大和血脈の事である。一祖国は瓦解し、無機質な人間損失と独自の伝統・文化が消え失せた(国家なきアナーキィ)状況を指す。此を筆者・井上寛康(保守運動家)は、「没・民族の気概」喪失と呼び、現在置かれている日本国の立ち位置は、歪められた歴史「観」一子供達が学ぶ日本憎悪(自虐を推進する管理下(文部科学省)一悪魔の囁き)左傾された教科書検定制度一が災いする。

「日本に誇りを持ち、この良い国を築き遺してくれた先人に見做つて、後の世代にも良き日本を遺して行く」という気概を持たせる(井上)。為に、使命感溢れる教科書調査官が不可欠。然し、故村尾次郎氏の如く憂國の闘いを念頭に、検定を薦めた日本人は、過去形に成ってしまった。愛國を極限迄高める支那・ロシア(民族至上主義の高揚は、独善的エゴイズムだが、ユアラップやアジア諸国に於いても、母国の歴史は、民族の誇り)。

此の伝承に溢れて居る。其れが、青少年に祖国のロマンを与える「歴史教科書」(公民も含め)の真摯な使命だと云える。井上氏が指摘致すのは、東京書籍を始め(歴史)教科書自由社・育鵬社除外の多くは、古事記及び日本書紀に観られる「神話」・神武天皇等を無視、日清・日露や大東亜戦争他、すべからく(大日本帝國の侵略)と呼び、日韓併合、満州國をも我が国の無謀と記載。全て、負の要因は日本だけにある。

感性豊かな若人に、憎悪を植え付ける教科書の視点。一種の洗脳だね。此を容認する役人には、「教科書検定」を行う資格そのものが無い。

本書は、古代から近代迄の東京書籍版を中心軸に分析した。実証検分は、読者特に中学生に(日本の黎明)をもたらず。「東京書籍は」(箱へ) (井上)。文科・教育関係者の入れ換え、教育委員会の改革一新。井上寛康氏の卓論は、今日の教科書検定を反故にすべしだ。

# 連合艦隊各艦の予定・活動報告

## NPO法人百人の会

●弊NPO法人百人の会は、平成元年(2月を最後)、「コロナのため約2年間勉強会等の活動を休止してしまいました。第6波が来るとか来ないと言われていますが、今のところ何とか収まっているようです。左記要領で、活動を再開いたします。コロナは一旦収まったと思っておりますが、ご参加はネットで開催をご確認ください。

【月日】日時・R3-12-18(土)

・第42(通算108)回定期理事会

○午後1時40分～

○主な議題

第12(通算23)回定期総会議

題の確認

・第12(通算23)回定期総会

○午後2時00分～

○主な議題

R2年度の会計報告等の定例議題

R1年度の書面総会の報告

その他

【会場】サムティフエイム新大阪4F

【基調講演】

京都北山 九頭神社宮司 中村重行

「今一度考える『教育』とは」

教育のバージョンをゆめよー

【理事会】2～3か月毎に開かれ、会の重要案件を議論します。理事会は理

事の方はもちろんのこと一般の」出席も大歓迎です。

## 台湾人日本国籍確認訴訟支援の会

●次回公判(判決)の期日が決まりました。

期日 令和4年1月11日14:00

(抽選13:20)

会場 東京地裁103号

台湾人日本国籍確認訴訟支援の会

東京幹事 二瓶文隆

## 大阪おばちゃんの家

●次回口頭弁論の期日

期日 1月13日15:30

会場 大阪地裁806号

事務局

## 編集後記

小中学校や高校の同窓会。楽しいですが、もちろんそれなりに楽しいですが。高校の同窓会は充実感があります。小中学校の同窓会は数人とは話が合いますが、ほとんど担任の先生との会話。私の高校は福井では超進学校。その同窓生ですからそこそこ価値観が合い、政治、経済の話もまあまあできます。ところが小中学校は普通の効率でした

から、同窓生はそこに住んでいた人の集合体。要するにいろいろな価値観の人がいるわけです。だから似たり寄ったりの数人の連中とは話が合いますが、それ以外の人は無理。

カズレーザー氏は、価値観と言言葉は使っていませんが、価値観が違う人が混在している。それが現実であり、また、国際社会でもあると思います。

みんな仲良く、などと言っている人僕が彼女を横取りしても怒らない？ マスキ

### 【資料提供】 狼魔人日記

中3刺殺事件、カズレーザーの発言に共感続々 学校は「他人の集合体」「わかり合えない人がいてもそれが自然な社会」と教えないと」

1/29(月) 中日スポーツ

カズレーザー

お笑いタレントの「メイプル超合金」カズレーザー(37)が29日、フジテレビ系朝の情報番組「めざまし8」にスタジオ出演。愛知県弥富市の中学3年生

#####

## 原稿・同封資料の募集、メール配信について

本紙に掲載ご希望の論文、情報等どんなメールでお送りください。また、弊紙はメールアドレス、重さ制限は50gです。また10g程度余裕がこえますので、資料等の同封が可能です。ご相談ください。

●弊紙は購読料は頂戴しておりません。

の男子生徒が同級生に刺殺された事件についての発言がネット上で共感を呼んだ。番組では、殺人容疑で送検された生徒が、2月の学校のアンケートで、被害者の生徒への不満をつづっていたことなどを報じた。

カズレーザーは、アンケートが事件の背景を知る材料の1つとしつつも「このアンケートで背景が見えたとするのはまだ早計」と慎重な受け取り方をすべきだと主張。

続いて「この学校の校長先生がこの事件の後、わが校は家族のような関係をもった…っておっしゃったんですけど」と説明した上で、生徒たちは「たまたま同じ場所に生まれて、同じ年齢だったって他人の集合体」と持論を展開した。

仲良くなるのは理想だが、「わかり合えない人たちがいてもそれが自然な社会」「社会の縮図」と説明し、「うまくいかないっていうのも現実としてもあるっていうのはやっぱり教えないといけない」と、この考えを示した。

## 活動資金の協力をお願い

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 MASUKI 情報デスク  
TEL: 090-0245547 FAX: 090-0245547  
E-MAIL: info@masuki.jp URL: www.masuki.jp